

## 現在の停滞状態

言葉を出す気力が落ちる、その正体。

- 反応がほぼゼロ
- 投稿を見るのが怖い
- 書いても手応えがない
- いいねが数件で止まる
- コメントやDMが来ない
- 継続がしんどくなる

## 原因の特定

読み手との「接続」が、一段外れている

- 誰のどの状態かが曖昧
- 今の感情に接続していない
- 結論や主張が先行している
- 安心材料が不足している
- ひとりごとの構造になっている
- 入口で離脱されている

## 誤認の破壊

「価値」がないのではない、ただ「ズレ」しているだけだ

- × 文章力の問題ではない
- × 努力量の不足でもない
- × 情報の質のせいでもない
- × 丁寧さだけでは届かない
- × 技術不足ではない

伸びない = 価値がない、ではない。  
ズレの未特定が、停滞を招いている。

## 基本構造の提示

### 「分かち合う形」へ、配置を戻す

- 読み手の「今」を特定する
- 一番しんどい瞬間を想定する
- その感情に触れる
- 体験を一つ共有する
- 安心できる前提を置く
- 主張は最後に配置する

## 変化の実感

「書くこと」が、自分自身の救いになる

- 「自分のこと」として読まれる
- 共感コメントが発生する
- 保存とプロフィール遷移が増加する
- 関係性が深まる
- 反応の「質」が劇的に変わる
- 言葉が届く感覚が戻る

## 最小アクション

### 最優先の書き換えステップ

1. 直近の投稿を一つ選ぶ
2. 対象読者の「状態」を書き出す
3. 冒頭に「その感情」を置く
4. 結論を一番後ろへ移動する

- 一文だけ「安心材料」を追加する
- ひとりごとの文を削除する
- 三行で構成を組み直す

# 資料の使い方

## 反応が沈んだ時の「レスキューボード」

- 反応ゼロ時の原因特定に
- 投稿前の読者位置確認
- ズレ修正の絶対的な基準
- 共感発生の再現ツール
- 順番設計・温度調整と併用
- 繰り返し使うことを前提とする

## 次の選択肢

読者の「今」から、言葉を始める

- 過去投稿を一つだけ修正する
- 反応の変化をデータで確認する
- コメントの内容を細かく観察する
- 一週間だけ継続してみる
- 必要なら外の視点を取り入れる